2026年11月〇日

代表取締役社長　佐藤一郎　様

営業部
山田太郎　㊞

始末書

私は、2026年11月〇日（月）、出勤の予定であったにもかかわらず、始業時刻の午前9時を過ぎても出社せず、午前11時に連絡をするまで無断で遅刻をいたしました。

前夜に体調を崩して薬を飲んだまま寝てしまい、目覚ましに気づきませんでした。起きたあとも、すぐに電話をせずに身支度を優先したため、連絡が大きく遅れました。

午前11時に課長へ電話で事情を伝え、正午に出社しました。その日に予定していた見積書の作成は、同じ課の方に一部を手伝っていただき、当日中に提出を終えています。

体調に不安があるときは、前日のうちに上司へ伝えます。遅れると分かった時点で、身支度より先に必ず電話で連絡します。

このたびは、無断での遅刻により会社と課の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後二度と同じことを起こさないことを、ここに誓約いたします。